

用語解説

あ行

■ オープンスクール

子どもの能力や適性に応じて個別に教育計画を立て、開放された空間で自主的な学習を進める教育形態や学校のこと。

か行

■ 学社連携

学校教育と社会教育がそれぞれ独自の教育機能を発揮し、相互に補完しあいながら、協力していくもの。

■ 学社融合

学校教育と社会教育がそれぞれの役割分担を前提とした上で、そこから一步進んで、学習の場や活動など両者の要素を部分的に重ねあわせながら、一体となって子どもたちの教育などに取り組んでいくもの。

■ 学校支援センター

保護者や地域の人々の持っている知識や技能、経験などを生かして、学校を支援していただく教育活動が組織的・計画的に推進できるようにするための拠点となるもの。

■ 上豊岡の茶屋本陣

19世紀はじめに大名の参勤交代や上級武士・公卿の喫茶や昼食などに用いられた休憩所。中山道の高崎宿と板鼻宿の間に設けられた。

■ 北谷遺跡

5世紀後半から6世紀初頭にかけての豪族の館跡。東西に延びる二つの谷と南北に掘削された二つの濠に囲まれた一辺約90mのほぼ正方形を形作り、南を除く三方に張り出しがある。

■ キャリアデザイン支援事業

生きがいのある人生設計を考え、個々の能力や個性の開発に挑戦できる学習機会を提供する事業。

■ 躯体

建物の構造体のこと。建築物の骨組みにあたる最も重要な部分。

さ行

■ 下田邸

箕輪城主長野氏の重臣、下田大善正勝の子孫が落城後、居を構えた屋敷。江戸時代の書院と回遊式風の庭園が現存しており、近世の様式を伝える数少ない文化財。

■ 自力解決

既習事項をもとに、自分の考えを持ち、よりよく問題を解決していく力のこと。

■ 人権尊重都市宣言

巻末参照

■ 新町行在所

明治11年、明治天皇が北陸東海道の各地を御巡幸された際に宿泊された施設。

■ スクラップアンドビルド

老朽化した施設を廃棄し、新しい効率的な施設をつくること。

■ 総合的な学習の時間

子どもたちが各教科等の学習で得た知識や技能を生かし、教科の枠を超えてよりよく問題を解決していくための資質や能力を育むための学習の時間。

た行

■ 高崎観音だるまマーチ

全国各地から参加者を募集し、高崎市の紹介と人のふれあいを兼ねた全国規模のウォーキング大会。

■ 単元構想

子どもたち一人ひとりに確かな学力を身につけさせるための授業計画書

■ 地域づくり支援・ボランティア養成事業

地域の伝統や文化をさらに発展させるための支援や活動ボランティアを養成する事業。

■ 図書ボランティア支援事業

心豊かな子どもたちの成長を願い、公民館が市立図書館等と連携して、図書活動を充実させるための事業。

な行

■ ニュースポーツ

グラウンドゴルフ、スマイルボウリング、ディスクゴルフ、ソフトバレー、ターゲットゴルフ、バウンドテニスなど。

■ 認定こども園

就学前の子どもに幼児教育・保育を一体的に行う都道府県知事の認定を受けた施設。

は行

■ 日高遺跡

昭和52年に関越自動車道建設に伴う発掘調査の際に発見された弥生時代後期を中心とする遺跡で、集落景観を復元できる貴重な遺跡として国の史跡に指定されている。

■ ブックスタート事業

乳児に絵本の読み聞かせやその指導を行う事業。多くの自治体で、乳児検診等にあわせて実施され、その際に絵本をプレゼントすることが広く行われている。

■ 平和の文化年

国連総会において、1999年9月13日に採択された「平和の文化に関する宣言」に留意し、2000年を「国際平和の文化年」と宣言した。また、2001年から2010年を「世界の子どものための平和と非暴力の文化の国際10年」としている。

■ 保渡田古墳群

5世紀後半から6世紀初頭の前方後円墳である井出二子山古墳、保渡田八幡塚古墳、保渡田薬師塚古墳の3基で構成されている。

ま行

■ 学び合いの場

問題をよりよく解決するために、自分の考えを友だちと深め合う場

■ 箕輪城跡

西暦1500年頃、長野氏により築城され、1598年の廃城まで、長野、武田、織田、後北条、徳川氏といった戦国大名が西上野を支配する際の最大の拠点となった城。本丸の周りを巡る空堀など全国的な規模の遺構も良好に残っている。

■ メンタルヘルス

「心の健康」、「精神衛生」などと訳され、心身ともに充実した健康状態を目指すこと。

や行

■ 山名古墳群

6世紀から7世紀に築造された古墳群で、前方後円墳である伊勢塚古墳をはじめ、古墳群として保存されている県内にも数少ない例であり、学術的にも評価を得ている。高崎市では、これらの古墳を永く保存し、広く活用するため史跡公園として整備を予定している。

■ ユニバーサルデザイン

文化・言語・国籍の違い、老若男女といった差異、障害・能力の如何を問わずに利用することができる施設・製品などの設計のこと。

ら行

■ ライフアップ推進事業

心豊かな子育てや家庭生活の向上、新しい地域づくりや活性化などの課題の解決を目指す事業。